

10月27日(土)【1日目 AM】 日本広報学会 第24回研究発表全国大会 プログラム

開始時刻	終了時刻	LAP	内容	会場
10:00			受付	2号館1Fホール
10:30	10:40	10	開会式	A会場 2号館1F213教室
10:40	11:10	30	<p>ポスターセッション口頭案内 *プログラムでは報告者氏名は、申請書筆頭者のみ記載。詳細は予稿集をご覧ください。</p> <p>*口頭案内および展示説明ののち、投票を行ってください。当日、懇親会で表彰いたします。</p> <p>【P-1】「コンテンツとしての“スポーツゴミ拾い大会”を通じて国家イベントにおけるコンテキスト形成を考える」 相原正道(大阪経済大学)</p> <p>【P-2】「国内企業における従業員エンゲージメント調査の第1次調査結果—インターナルコミュニケーション施策への考察—」池田勝彦(ソフィア)</p> <p>【P-3】「関西部会における「CCの課題解決のためのディスカッションとプレゼンテーションに取り組む」研究事例・交流部会—2017/4～2018/9「中間報告」—」 石橋陽(国際CCO交流研究所)</p> <p>【P-4】「「科学技術広報ハンドブック」制作について」 伊東真知子(総合研究大学院大学)ほか</p> <p>【P-5】「日本の大学における広報教育の実態把握(2018年度進捗報告)」 伊吹勇亮(京都産業大学)ほか</p> <p>【P-6】「災害復興の現場における広報の在り方」 小野豊和(元東海大学)ほか</p> <p>【P-7】「中部圏企業における広報課題研究会 実施報告2018 ～実務家と研究者のリアルセッションで旬の広報課題と向き合う～」 川合靖之(川合企画室)ほか</p> <p>【P-8】「広報研究深化・交流部会2017年10月-2018年8月活動報告」 国枝智樹(上智大学)</p> <p>【P-9】「スポーツメディアと広報の関係性の考察」 小林壘(同志社大学大学院)ほか</p> <p>【P-10】「現代のアート業界の広報・PRに関する課題と解決への構想について」 佐藤浩史(社会情報大学院大学)</p> <p>【P-11】「スポーツ組織における理念浸透の実装—日本オリンピック委員会を事例に」 辻中祐子(毎日新聞社)ほか</p> <p>【P-12】「大学広報活動としての「高校訪問」と「大学説明会」の再考—情報受信者からの視点を手がかりに考える高大のつながり—」 三浦倫正(桜丘中学・高等学校)</p> <p>【P-13】「大学広報の現状と課題(入試広報から大学ブランディングまで)」三宅貴也(電気通信大学)</p> <p>【P-14】「BtoB企業の社会貢献活動の特質に基づくソーシャル・コミュニケーションの研究」山崎方義(愛知産業大学)ほか</p>	A会場 2号館1F213教室
11:10	12:10	60	ポスターセッション説明および投票	2号館1Fホール
11:10	17:45		ポスター展示	2号館1Fホール
12:10	13:30	80	昼食	3号館地下学生食堂

日本広報学会 第24回研究発表全国大会 プログラム

10月27日（土）【1日目 PM】

開始時刻	終了時刻	LAP	内容	会場
			統一論題シンポジウム	
13:30	14:30	60	基調講演 「都市のイノベーションとコミュニケーション ―東急電鉄の沿線経営戦略―」 東浦亮典(東急電鉄株 執行役員 都市創造本部 運営事業部長)	A会場 2号館1F213教室
14:30	15:10	40	事例報告 「地域の賑わい創造とバッドロケーション戦略 ―街灯り人が遊んで生まれけん―」 佐藤裕久(株)バルニバービ 代表取締役社長)	A会場 2号館1F213教室
15:10	15:20	10	休憩	
15:20	17:30	130	パネルディスカッション 「未来都市とコミュニケーション ―地域の調和を実現する企業・行政・市民・メディアの役割―」 <コーディネーター> 永江総宜(東京都市大学・都市生活学部・教授) <パネリスト> ・鷺尾和彦(株)博報堂 クリエイティブプロデューサー／「生活圏2050」プロジェクトリーダー) ・堀健一(株)三菱総合研究所 地域創生事業本部地域づくり戦略グループ グループリーダー) ・川口和英(東京都市大学・総合研究所未来都市研究機構長／都市生活学部長・教授) ・澤田伸(渋谷区副区長)	A会場 2号館1F213教室
17:30	17:45	15	学会賞・表彰式	A会場 2号館1F213教室
18:00	20:00	120	懇親会	3号館地下学生食堂特設会場

10月28日(日)【2日目 AM】 日本広報学会 第24回研究発表全国大会 プログラム

開始時刻	終了時刻	LAP	B会場 2号館2F 224教室	C会場 2号館2F 225教室	D会場 2号館3F 234教室	E会場 2号館3F 235教室
			統一論題 自治体・地域 (司会・橋本倫明・東京都市大学)	自由論題 マーケティング・動画 (司会 兩宮和弘・クロスメディア・コミュニケーションズ)	自由論題 リスク・SDGs (司会・北見幸一・東京都市大学)	自由論題 調査 (司会・伊吹勇亮・京都産業大学)
9:00	9:30	30		【C-1】動画コンテンツの広報的有用性の考察 —ソーシャルメディアとの相性を検証する— 田代順(スペインクラブ) 玉川俊哉(情流工房)	【D-1】アクティブラーニング、マイクロラーニングを取り入れた外見リスクマネジメント学習プログラム 石川慶子(シン)	【E-1】広報力調査、企業魅力度調査にみる今年の広報活動の傾向と要因分析 橋本良輔・酒井繁(企業広報戦略研究所)
9:30	10:00	30	【B-2】自治体広報紙を起点とする地域情報の拡散 本田正美(東京工業大学)	【C-2】動画共有サイトと消費者行動 —ユーモアと認知的経験が動画への態度と購買意図に及ぼす影響— 藺部靖史(東洋大学)	【D-2】大学の不祥事は志願者を減らすのか 棚橋伸男(未来教育サポート)、 野口将輝(小樽商科大学)	【E-2】戦後の企業広報の変遷と企業広報意識実態調査—第13回企業の広報活動に関する意識実態調査を中心に— 佐桑徹・吉満弘一郎(経済広報センター)
10:00	10:30	30	【B-3】コミュニティ・エンゲージメント時代におけるダイレクト広報のあり方:地方都市創生広報を中心に 菅原正博(プロトビジョン)、築地達郎(龍谷大学)、大田章子(祥和会大田記念病院)	【C-3】健全なWOM発信に向けたインフルエンサーとの関係構築—「関係性明示」記載の必要性と表記をめぐる— 藤崎実(東京工科大学)	【D-3】SDGs時代の企業のサイエンスコミュニケーションについて—グローバル・コンパクト加入企業のウェブサイト調査から— 大島昌子(東京経済大学大学院)	【E-3】グローバル調査の中の日本の広報—2回のAPCMから見えること— 宮部潤一郎(北海道大学)
			統一論題 都市・シティ (司会・永江総宜・東京都市大学)	自由論題 マーケティング・ブランド (司会・川北真紀子・南山大学)	自由論題 インターナル・グループ (司会・柴山慎一・社会情報大学院大学)	自由論題 評価・効果測定 (司会・山崎方義・愛知産業大学)
10:30	11:00	30	【B-4】シティプロモーションから共創参画プロモーションへの展開可能性 —「シティプロモーション事例分析研究会」の知見から— 河井孝仁(東海大学)		【D-4】持続可能な成長をもたらす社員エンゲージメントのインパクト—現場調査・考察からのアプローチ 嶋谷光洋(アイマム)	【E-4】パブリックリレーションズと効率的市場 黒田明彦(電通パブリックリレーションズ)
11:00	11:30	30	【B-5】関係性志向のシティパブリックリレーションズの提起 野口将輝(小樽商科大学)	【C-5】マーケティングPRの最新動向について—カンヌライオンズ2018受賞作を中心に— 佐藤達郎(多摩美術大学)	【D-5】企業グループにおける広報活動の現状—事例研究によるグループ企業の一体感醸成 駒橋恵子(東京経済大学)	【E-5】PRの測定評価—海外の論文・ケースの分析に基づくベスト・プラクティスの探索 山村公一(早稲田大学)
11:30	12:00	30	【B-6】クリエイティブ都市・東京とPR専門職—クリエイティブ資本論に基づくPR会社の分析 和田仁(東京国際大学)	【C-6】大学におけるブランド・エクイティの向上—体育会運動部の法人化を事例に— 黒澤寛己(びわこ成蹊スポーツ大学)、 小林壘・横山勝彦(同志社大学)	【D-6】インターナル・コミュニケーションにおける企業博物館活用の評価に関する考察 高柳直弥(大正大学)、 粟津重光(国際CCO交流研究所)	【E-6】(学会誌委員会主催講座)『広報研究』に論文を載せるには 宮部潤一郎(学会誌委員会委員長)
12:00	12:10	10	休憩			

日本広報学会 第24回研究発表全国大会 プログラム

10月28日(日) 【2日目 PM】

開始時刻	終了時刻	LAP	A会場 2号館1F 213教室		
12:10	13:10	60	<p>●ランチョンセッション(共催:㈱電通パブリックリレーションズ) * 弁当付き(弁当は、事前申込の方を優先。当日分も十分にありますが数に限りがあります) 「イノベーション政策課題とパブリックアフェアーズ」</p> <p>阪井完二、末次祥行、長濱憲、中憲仁 (電通パブリックリレーションズ・企業広報戦略研究所) 大知正直(東京大学)</p> <p style="text-align: right;">* 会場入口の受付で、名刺を渡してください。弁当と引き換えます。 * 共催企業より、メールやDM等で連絡させていただく場合があることをご確認ください。</p>		
開始時刻	終了時刻	LAP	A会場 2号館1F 213教室	B会場 2号館2F 224教室	D会場 2号館3F 234教室
13:10	13:20	10	休憩		
13:20	15:20	120	<p><東京都市大学総合研究所未来都市研究機構 共催セッション></p> <p>テーマ: 「地域の交響と都市ブランディング」</p> <p>パネリスト: ・「1万人生活者調査と都市のブランド戦略」 北見幸一(東京都市大学)</p> <p>・「高山市の『あたかも大学』の取り組みと都市大との連携」 西山敏樹(東京都市大学)</p> <p>・「公民学連携によるアーバンデザインの実践とコミュニケーション」 中島伸(東京都市大学)</p> <p>ディスカッサント: 河井孝仁(東海大学)</p>	<p><組織論と人材論セッション></p> <p>テーマ: 「広報研究における組織論と人材論を考える」</p> <p>パネリスト: ・「広報における『役割』と広報教育:日本における応用に向けて」 伊吹勇亮(京都産業大学)</p> <p>・「対境担当者間の協働の必要性を高める環境要因が広報部門の組織内活動と企業メッセージに及ぼす影響に関する考察」 須田比奈子(北海道大学)</p> <p>・「PR技術と自社事業の深い理解のどちらが重要かー日本企業のPRマネジャーの可能性についての一考察」 宮部潤一郎(北海道大学)</p> <p>ディスカッサント: 山村公一 (Cision Insights 日本代表/早稲田大学)</p>	<p><研究部会セッション></p> <p>経営コミュニケーション研究会</p> <p>テーマ: 「人を活かすインターナル・コミュニケーション経営で“ベネフィット”を生み出せるのか? ~各社の実践から見てきた経営施策とコミュニケーション手法」</p> <p>パネリスト: 井垣勉(オムロン・執行役員)</p> <p>伊東由理(リクルートホールディングス前広報部部長)</p> <p>柴山慎一(社会情報大学院大学)</p> <p>コーディネーター: 清水正道(筑波学院大学)</p>
15:20	15:30	10	休憩		
15:30	16:00	30	閉会式 次回開催校挨拶		